

# 飛行機輸行の手引き

文責：ユアサ

フェリーや新幹線よりも、LCCのほうが安い、といったことがよくあります。移動費を抑えておいしいものを食べるために、飛行機輸行をしてみましょう。

## 飛行機輸行の基本

まず、電車で輸行する場合と同じく、前後のホイールを外し、輸行袋に入れる必要があります。しかし、サイズが大きいため預け荷物となり、機内に持ち込むことはできません。そのため、以下のことに注意する必要があります。

- (1) タイヤの空気を抜いておく
- (2) 片面を倒せるようにする
- (3) 危険物を入れない

(1)について、飛行機の貨物室内気圧は通常 **0.8** 気圧で維持されていますが、念のため空気を抜いておきましょう。輸行状態にした後で空気を抜くとバランスが崩れるので、先に抜いておくことをオススメします。

(2)について、飛行機の貨物室の積み込み状況によっては、通常の輸行のときのように立てて置くことができない場合があります。そのような場合、寝かせて置くことがあり、預ける際に必ずどちらを上にするか聞かれます。このときは、ハンドルを曲げた方向を上側にするようにしましょう。また、輸行状態にするときも、過重がかかると壊れてしまうディレーラーなどが上側になるよう、考えておきましょう。

(3)について、航空機への危険物持ち込みのルールは電車に比べて非常に厳しく、預ける際、保安員にツール缶の中を見せるように要求される場合があります。チェーンオイルや **CO2** インフレーターなどは、物によって持ち込めない可能性があるため、注意してください。また、預ける際バッテリー系（ライト、サイコンなど）は手荷物に移すようにしてください。逆に、携帯工具は輸行袋の中へ入れて預けるようにしましょう。手荷物として持ち込むと凶器となりうるため、没収され、到着後に輸行解除出来なくなります。



積み込まれる自転車



FDA、小牧空港にて

## 航空会社ごとの違い

航空会社によって、自転車を預けるときにルールが異なります。ここでは部員が以前使用した会社について紹介します。なお、現在のルールと異なっていることもあり得るため、実際には各社のページを参照してください。

航空会社	ペダル外し	追加費用	重量制限	その他
JAL	不要	不要	20kg（超過は追加料金）	横型可
ANA	不要	不要	20kg（超過は追加料金）	横型可
SKY	不要	不要	20kg（超過は追加料金）	横型可、50x60x120cm 以内
FDA	不要	不要	20kg（超過は追加料金）	専用ケース貸出有（要予約）
PEACH	必要	¥2,200	20kg（超過は不可）	3 辺合計 203cm 以内
IBEX		不要	32kg（超過は要申請）	3 辺合計 203cm 超えると要申請

## 気をつけていること

部員がそれぞれ気をつけていることを載せておきます。

### （FDA のこと）

輸行時、タイヤ外して貸し出してくれるハードケースに入れるだけなので気をつけることはないと思います。ただハードケースは電話予約しないと貸してもらえません。3 日前には締切になるので気をつけてください。

空気抜き忘れるな。

飛行機輸行の時は縦型とか横型とかなく横倒しになるので、横型にしておいてキャリアとかヘルメットとかフレームの上に詰め込んどくと、きれいに輸行できます。

タイヤの空気を抜く。チェーンリング・リアディレイラーの保護。ディスクブレーキの場合はブレーキローターの保護も。古タオルとプチプチで覆った。自転車はこれで無事だったが、これらのおかげなのかは謎。リアディレイラーを外していたが、チェーンが暴走したのでその対策までできるといいのかも。事前に飛行機会社に電話して、本当に載せられるかなどを確認するといいと思う。

携帯工具は必ずツール缶の中に入れること。

以上